QBS Kyushu University Business School News Letter
九州大学ビジネス・スクール ニューズレター
ISSN 1882-871X
VOL.31
2019.11

編集発行▸九州大学ビジネス・スクール　担当▸QBS支援室　住所▸〒819-0395 福岡市西区元岡744　電話▸092-802-5558
メールアドレス▸bs@econ.kyushu-u.ac.jp　▸facebook.com/QBS.MBA

教員×学生特別対談「MBA取得の意義とは？」

日本においてMBAを取得する意義は何か？この点については様々な意見が存在します。今回はQBS教員の高田先生（経済学研究院教授）と修了生の佐々木彩さん（QBS12期生）、山路健太郎さん（QBS15期生）の特別対談を行い、その意義を語っていただきました。

左から高田先生、佐々木さん、山路さん

Q：教員として長年の教育を通じて感じる意義は？

高田先生：修了してMBAを持つことの意味はすごく大きいと思います。例えば弁護士や税理士のように、その資格を持った人しかできない仕事ってありますよね。でも、MBAを持っていなくてもビジネスはできるわけです。では、MBAホルダーになると何が違うのか。それは、2年間の学びを通じて、ビジネスに対する自分自身の意思を明確に持つようになることです。それまでは、会社や上司に自らを委ねて生きていた人が、QBSで学んでMBAホルダーになることによってかなり強烈に自分の意志を持つようになり、自分の意志と所属する組織のベクトルを上手く合わせながら成長していくようになります。

Q：全課程を修了した、修了生の視点から感じる意義は？

佐々木さん：確かに意思決定のポリシーを持つことができました。でも、知れば知るほど私はまだまだ知らないことが多いんだなって思うんです。学べば学ぶほど見えてくるものもあり、キリがないんですよ。

山路さん：私も先生方や共に学ぶ仲間と切磋琢磨することで、自分の至らなさを思い知りました。だからこそ、素直になった気がします。自分がわからないこと、学ばないといけないこと、学ぶために動かなきゃいけないこと。それらのことに対して素直になったことは確かですね。

佐々木さん：それ、すごくわかります。私はこの分野・領域ではこの人にはかなわないんだって思えるし、じゃあ私にできることって何だろうって考えられるようになりましたね。

Q：ポリシーを持つという意義に加えて、他にどのような意義があるか？

高田先生：仕事をしながらQBSで学び、さらに家庭を持つ人はご家族のケアもしてということで、時間のマネジメント能力が自然と身に付きます。自分自身のサバイバビリティが上がるということですね。それは、不確実な状況に対応しなければならない時にサバイブしていく自信にもつながっていきます。

佐々木さん：私も仕事をしながら学んでいましたが、それまで自分がどれだけダラダラとやっていたのかということを痛感しました。18時半からの授業に出るために18時過ぎに会社を出るなんてことは有り得なかったんです。でも、やろうと思えばちゃんとできるんですよね。自分が何をしなきゃいけないかを考えて、それを集中してやれば時間って出てくるんだなと感じました。　（対談の全文は、QBS公式HPに掲載してありますのでご覧ください）

QBS　検索

平野 琢（企業倫理、経営リスク・マネジメント）

九州大学ビジネス・スクール［MBA課程］
2020年4月入学生（18期生）

特別選抜入試

変革をリードし、新たな事業価値の創造に挑戦する意欲を持つ学生の募集を重点的に行うため、特別選抜を実施します。

出願期間／2019年12月25日（水）～2020年1月7日（火）
（12月28日～1月5日は窓口受付なし）
試験期日／2020年1月26日（日）
募集人員／若干名
選抜方法／書類審査・口頭試問ほか
合格発表／2020年2月18日（火）

入学試験に関するお問い合わせ先
〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学人文社会科学系事務部教務課教務第二係
TEL▸092-802-6367
E-mail▸jbk-qbs@jimu.kyushu-u.ac.jp
ホームページ▸http://qbs.kyushu-u.ac.jp/

第32回 ICABE学生交流プロジェクト

今年の上期ICABEでは、「海外から中国へ、または中国から日本へ進出した企業の成功・失敗ケースを分析・応用し、新たなビジネスモデルを考案する」というテーマの下、上海の次に日系企業数の多い中国の大連を訪問。3泊4日で提携大学2校・企業2社を訪問しました。

提携大学との交流では、大連理工大学・東北財経大学の両大学でグループディスカッションとプレゼンテーションを実施。日本国内では持っていなかった視点や考えを発見することができました。企業訪問では、福岡発祥である株式会社トリゼンフーズの博多華味鳥大連店と、ソフトバンク株式会社の子会社である軟銀科技有限公司を訪問。中国市場進出の経緯と方策を管理職の方々から直々に伺い、進出成功要因と競争優位性を学ぶ機会となりました。

中国市場が今後ますます日本企業や日本市場に大きな影響を与えることは間違いなく、中国市場を無視することが出来なくなっている昨今、ちょうど成長過程にある大連を視察できたことは幸運だったと思います。ICABEを通じて得たご縁と経験を、今後のキャリアに活かしていきたいと思います。

尾﨑 祐子（16期生）

海外提携校が相次いでQBS訪問

今年は、提携関係にあるアジアのトップビジネススクールが相次いでQBSを訪問しています。7月23日－24日にチュラロンコン大学MBA（CBS）、続いて7月30日－31日には浙江大学MBAの皆さんがQBSにて研修を受けられました。CBSは講義に加え、TOTO（株）と（株）タカギも訪問し、ものづくり現場の取り組みを真剣なまなざしで見学されていました。工場見学にご協力いただいた両社の関係者の皆さんに、この場を借りて御礼申し上げます。

9月9日には国立台湾師範大学EMBAが初めてQBSを訪問しました。村藤教授（日本における財政問題）と高田教授（新規事業創造と起業家精神）の講義を受講され、たいへん熱心に質疑やワークショップに取り組まれていました。前日には、学生会主催による懇親会も開催され、師範大の皆さんの圧倒的な元気の良さに大盛況の交流会となりました。今後も大連理工大学のQBS訪問が控えており、アジア提携校との交流はますます深まっていきそうです。

目代 武史（企業戦略、生産管理）

「アジア・ビジネス戦略」担当の招へい外国人研究員 台湾国立政治大学 Weichieh Su先生からのメッセージ

Weichieh Su, Associate Professor of International Business
National Chengchi University, Taiwan.

I am very happy to be invited to lecture Asian Business Strategy this year. The course is taught in English. Through interactive discussion and activities, this course covers important issues concerning international business with a focus on Asia. First, the course discusses global business environments and make students aware of whether they a biased view of the current world due to their cognitive bias. We also discuss how different cultural, sociopolitical environments constrain or promote business development. Second, we discuss how firms expand globally: which countries they should enter, when, and in what mode. Lastly, we narrow down our discussion level to the function of marketing and discuss how to conquer the heart of the customers in domestic and global markets. Hopefully, I may bring in new energy and provide new insights to QBS students.

Welcome to Fukuoka!

9月27日（金）、天神で2019年度交換留学生歓迎会を開催しました。

2019年度は中国（東北大、大連理工大、東北財経大、浙江大、南京大、華中科技大）、台湾（国立政治大）、タイ（チュラロンコン大）、フィリピン（アテネオ・デ・マニラ大）の４カ国９大学から16名の交換留学生がQBSに加わりました。

後期よりアジア・ビジネス戦略をご担当される、台湾国立政治大学のSu先生を含め７名の教授陣に加えて、26名のQBS学生が留学生たちを迎え、日本語、英語、中国語、タイ語、そして、笑い声も飛び交い賑やかに歓迎会は進行。10月から一緒に学ぶ仲間として、親交を深めることができました。

熱心で、若い留学生たちにとって、QBSでの学びがより充実したものになるよう願うとともに、彼らとの交流を通じて、QBSメンバーの学びがさらに深まることを期待しています。

中山 寿巳子（17期生）

第9回 QBSビジネスプランコンテスト

2019年10月6日（日）に、第9回QBSビジネスプランコンテストを福岡市内で開催しました。当日は、会場が満員となるほどの多くの方々にご来場いただき、大盛況でした。基調講演では、大企業を30代で退職され、起業された株式会社空色の中嶋洋巳社長にご登壇いただき、アパレル業界を取り巻く厳しい環境や起業されてから今までの経験を本音ベースで語っていただきました。その後、MBAスクール生の３つのチームがビジネスプランを競い合い、僅差の結果で、K2BS＆QBS合同チームが最優秀賞に選ばれました。最後に、本コンテスト開催にあたり、ご協力いただいた審査員の皆さま、ご協賛企業様、個人の皆様には厚く御礼申し上げます。

- **最優秀賞（グランプリ）**
  おまもりうぉっちゃーず（代表：那須さま）
- **QAN賞**
  おまもりうぉっちゃーず（代表：那須さま）
- **麻生渡賞（前福岡県知事）**
  エビデンス.com（代表：川本さま）

根本 紘実（16期生）

第一回「デザイン×ビジネス×アントレプレナーシップの未来を考える」シンポジウム

2019年9月13日（金）、QBS・芸術工学研究院・QREC（九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター）の三部局連携による大学院活性化事業の一環として、2019年度第一回「デザイン×ビジネス×アントレプレナーシップの未来を考える」シンポジウムを開催しました（会場・ダイアゴナルラン福岡）。

このイベントは、現在進行中の新たな大学院教育プログラム構想について、ビジネスの最前線でイノベーション創出を手掛ける第一人者による議論を通じて考察を深めることを目的としたもので、冒頭、鶴野・芸術工学研究院副研究院長、丸野・教育担当理事からは、これまでにないイノベーション人材育成の場を創出することへの期待が寄せられました。シンポジストによるプレゼンテーションでは、株式会社シグマクシスでデジタルシェルパ サービスデザインディレクターを務める田村浩二氏、SAPジャパン株式会社バイスプレジデント兼チーフ・トランスフォーメーション・オフィサーの大我猛氏、そして九州大学経済学部卒業生であるREAPRA創業者・諸藤周平氏から、それぞれの取り組みについて紹介があり、それに続くパネルディスカッションでは会場に集まった参加者からも質問が相次いで、熱気あふれる会となりました。

松永 正樹（組織行動）

QAN便り

一般社団法人QBSアラムナイネットワークの基盤が整いつつあります。QBS支援室内に事務局を設置して半年が経過しましたが順調に回っています。今は足元を固める時期と考え、黙々と業務を進めた今期前半でした。

今期後半は①代議員選挙②バナー広告制度③QANちゃんねる（Youtube）の開設④QANアワード2020等を計画しています。なかでも①について、弊会は会則第3章で代議員制度を設けており、正会員のうち概ね40名の中より1名の割合をもって選出されることを定めています。会員自治の観点から、全ての修了期から選出頂けることが理想で、11月1日に告示予定となっています。初めての代議員選挙となりますが、何卒皆様の御力添えを頂けます様宜しくお願い申し上げます。

派手さはありませんが確実に前進している事を御報告致します。

QAN会長　寺松 一寿（4期生）

初の伊都オープンキャンパスを開催

9月7日（土）に、QBSとして初の伊都オープンキャンパスを開催し、多くの方にご参加頂きました。QBSの概要説明や「マーケティング」の模擬講義、在校生・修了生のパネル・ディスカッションを通じて、QBSでの学びの実態や意義について、具体的に理解を深めて頂く機会となりました。QBSは、土曜の講義のみ伊都キャンパスで開講していますが、最新鋭の設備を備えた中央図書館など箱崎では得られなかった施設が充実していることに加え、九州大学の他の大学院／センターと連携したユニークな講義を提供するなど、伊都では、日頃の博多駅キャンパスとは異なる学びの場を提供しています。

高田 仁（産学連携マネジメント、ビジネスにおける競争優位性持論）

QBS教員の著書紹介

▸『IFRSの概念フレームワーク』
税務経理協会、2019年3月10日出版
2,200円（税別）

▸『IASBの概念フレームワーク』
税務経理協会、2019年5月1日出版
2,500円（税別）

国際会計基準審議会（IASB）は、国際的な会計基準である国際財務報告基準（IFRS）を作成公表しています。この時、会計基準を作るための基準（メタ基準）として概念フレームワークがあり、これに基づいてIFRSが作成されています。2018年にこの概念フレームワークが全面改訂されました。この新しい概念フレームワークについて基準の解説として拙著『IFRSの概念フレームワーク』が、そして、理論的な検討をスタディー・グループで行ったものが拙編著『IASBの概念フレームワーク』です。是非ご一読ください。

岩﨑 勇（財務会計、タックス・マネジメント、コーポレート・ガバナンスと監査）

▸『石田梅岩に学ぶ石門心学の経営』
同友館、2019年4月25日出版、1,900円（税別）

本書は、江戸時代中期の思想家である石田梅岩が示した商業哲学を企業の実務家や、アカデミアの研究者らが、各々の視座から読み解き、その現代的な意義について考察した一冊です。本書は、前半に石田梅岩の生い立ちから学問的背景について解説し、後半において梅岩の思想を、現代企業の具体的な経営活動（例えば、顧客満足、危機管理、クライシスコミュニケーションなど）に引きつけて、その意義を考察しています。その内容を見ると、約250年も前に石田梅岩の示した思想が、現代ビジネスに求められる様々な課題に対して新しい示唆を与えることが見えてきます。企業の実務家の皆様はもちろんのこと、企業倫理を学ぶ学生皆様にもお勧めする一冊です。　平野 琢（企業倫理、経営リスク・マネジメント）

在校生・修了生紹介

那須 太輔さん（16期生）
所属▸ふくおかフィナンシャルグループ 株式会社熊本銀行

私がQBSに入学した理由は、「経営の論理的思考力の強化」と「更なる自己成長」をしたいと考えたからです。

現在、私は地域銀行に勤務しております。地域銀行は、マイナス金利政策・他業種の参入等により、厳しい経営環境下にあります。QBSは、①優秀な教授陣・学生②学ぶ環境③修了後のサポート等、私が期待してた以上のモノを提供してくれます。

また、QBSは学生自身が学ぶ環境づくりも許容されています。私は更なる「知見の拡大」と「ビジネスネットワークの形成」を図りたいと考え、早稲田大学（WBS）との交流会を企画しました。第一回目は九州で開催し30名程、第二回目は東京で開催し50名程集まり、目的の達成と仕事に対するモチベーション向上にもつながりました。

QBSは、能動的に動くことで、より多くのモノを得ることが出来ます。残りの学生生活も、一分一秒無駄にせず、多くのモノを学び得たいと考えています。

小牟田 毅さん（15期生）
所属▸司法書士法人ライブ事務所

「『無知の知』という言葉の大切さを思い知らされた2年間だった」。私のQBSにおける学びの期間が何だったかと問われると、この一言に尽きると思う。ファイナンスやマーケティングなど、仮に自分がQBSの門を叩いてなかったらそれらに関わることなく終わっていた可能性もあり、QBSにおける学びは私に一生学び続けよという“きっかけ”をもらったのだとも思う。また、お互いフラットな立場で議論し合える人的ネットワークが出来たことは大きな意義があったと言える。現在はQBSを修了して約半年が経過したが、幸いなことにこのQBSにおける人的ネットワークで、新たなチャレンジをする機会にも恵まれた。QBSで学んだことを生かし、このチャレンジに取り組んでいきたい。

編集発行／九州大学ビジネス・スクール
担　　当／QBS支援室
住　　所／〒819-0395 福岡市西区元岡744
電　　話／092-802-5558
メールアドレス／bs@econ.kyushu-u.ac.jp

●九州大学ビジネス・スクールに関するお問い合わせ
〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学人文社会科学系事務部教務課教務第二係
（経済学府担当）
TEL.092-802-6369
ホームページ http://qbs.kyushu-u.ac.jp/
facebook.com/QBS.MBA

QBS
九州大学ビジネス・スクール
Kyushu University Business School